

TOTO

弁座パッキン

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。


1


安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 必ず実行していただく「強制」内容です。

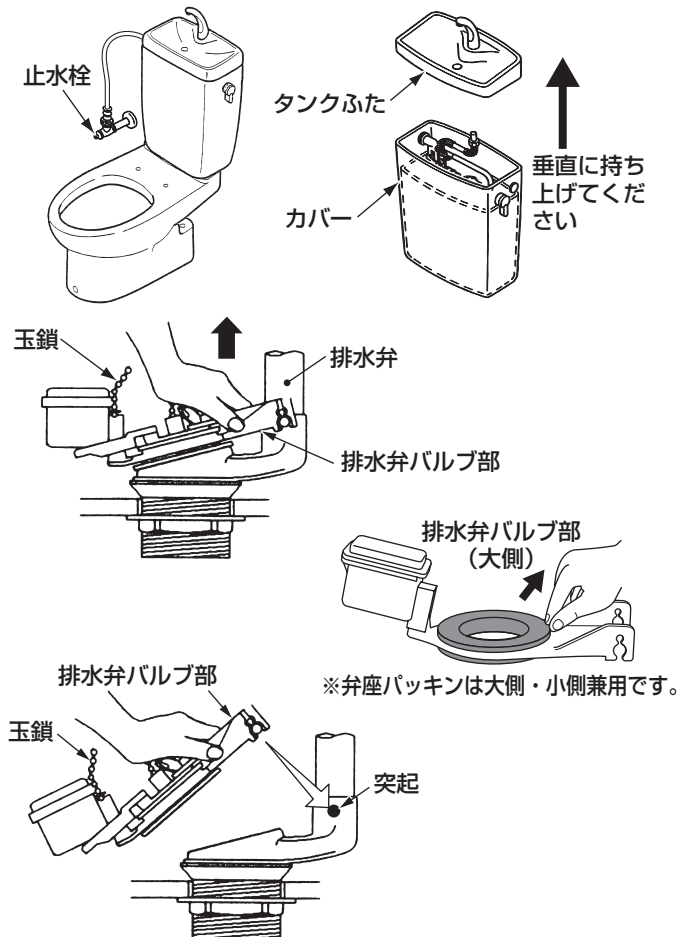
 注意	
 必ず実行	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 止水不良の原因になります。

2

弁座パッキンの取り付け

1 弁座パッキンの取り外し・取付方法

※弁座パッキンは排水弁バルブ部に取り付けられています。



1. 止水栓を閉めてからタンク内の水を流す。流したあと、タンク内に給水されていないことを確認する。

※止水栓の閉めかたは、裏面の「止水栓の開閉」を参照してください。

2. タンクふたを外す。

※手洗い付きの場合は、裏面の「タンクふたの外しかた」を参照してください。


3. 左図のように排水弁バルブ部の根元を持ち、上向きに引き上げて外す。

※このとき、大・小用レバーから玉鎖も外してください。

4. 古い弁座パッキンの端をつまんでめくるように外す。

5. 4項と逆の手順で新しい弁座パッキンを取り付ける。

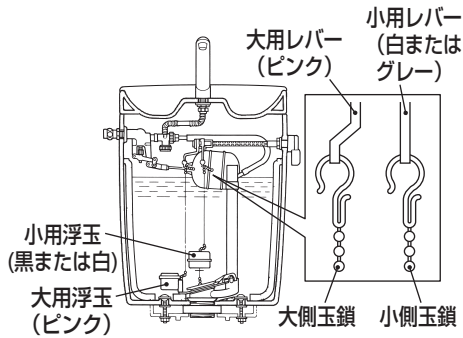
注意

 パッキン面にうねりやごみの付着がないように取り付ける
必ず実行 うねりやごみの付着があると止水不良になります。

6. 左図のように排水弁バルブ部を本体の2カ所の突起へ取り付ける。

裏面へつづく

1 弁座パッキンの取り外し・取付方法 (つづき)



- ①大用浮玉※ (ピンク浮玉) につながっている玉鎖は、大用レバー (ピンクレバー) につないでください。
- ②小用浮玉※ (黒い浮玉) につながっている玉鎖は、小用レバー (白またはグレーのレバー) につないでください。

※浮玉は白の場合もあります。

7. 大・小玉鎖を左図のように正しく取り付ける。



必ず実行

玉鎖をレバーに接続するときは、玉鎖が交差したり、絡んだりしないよう十分注意してください。洗浄不良となることがあります。

8. タンクふたを元に戻す。

※手洗い付きの場合は、この面の「タンクふたの外しかた」を参照し逆の手順で元に戻してください。

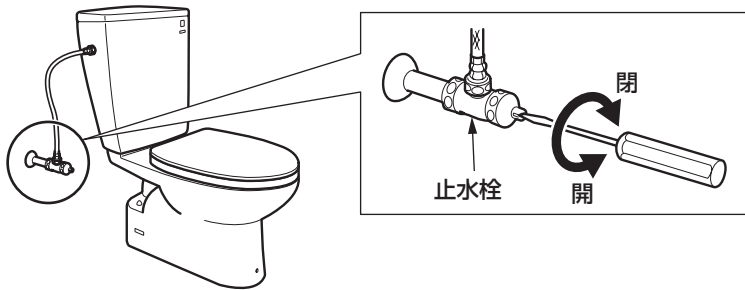
止水栓を開き (マイナスドライバーで左に回す)、タンクに給水させて水が止まったことを確認する。

2 排水弁の作動確認

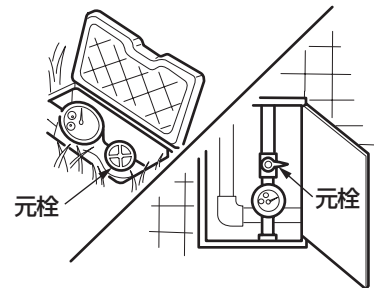
排水弁バルブ部の取り付け完了後は、大洗浄、小洗浄それぞれが正常に作動することを確認してください。

大洗浄時は大用浮玉、小用浮玉ともに浮き上がり、小洗浄時は、小用浮玉のみが浮き上がります。

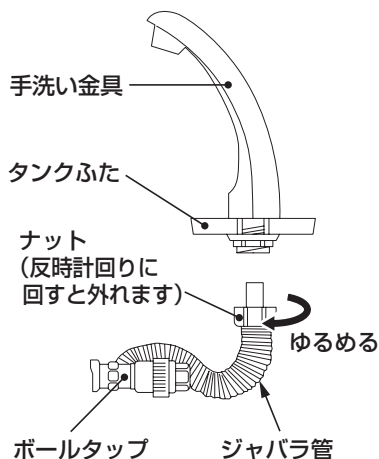
止水栓の開閉



※止水栓がない場合は元栓を閉めてください。



タンクふたの外しかた



1. 止水栓を閉める。
2. タンクふたを外す。

※手洗い付きの場合は、手洗い金具とボールタップがジャバラ管で接続されています。タンクふたを少し持ち上げてからナットをゆるめると取り外せます。

注意



必ず実行

タンクふたは落下しないように注意する

割れることがあります。